



外壁塗装体験記



株式会社ティップトップ
〒121-0832 東京都足立区古千谷本町1-8-20
TEL 03-6807-1737
FAX 03-6807-1738
☎ 0120-399-391
info@tiptop-paint.jp
www.tiptop-paint.jp



Contents

塗装のきっかけ.....	02	★	マスキング.....	06	★
TIPTOPに決めた!.....	02	▼	シーリング打ち替え.....	06	▼
打ち合わせ.....	03	★	屋根塗装.....	07	★
ごあいさつ.....	03	▼	外壁塗装.....	07	▼
まずは足場組立.....	04	★	外壁塗装.....	08	★
高圧洗浄.....	04	▼	バルコニー防水塗装.....	08	▼
シーリング撤去.....	05	★	その他塗装.....	09	★
下地づくり.....	05	▼	補修作業.....	09	▼
			完成!!.....	10	▼



Before



After

塗装のきっかけ

STEP 1



素人目にも一見して劣化が見てとれるほどの「色褪せ」。

毎週末、塗装屋さんの営業の方が来訪したくなるのも納得。

屋根は傷みて「欠け」「色褪せ」それから「ビスの外れ(?)」。指で擦ると白い粉が指に付着、よく言う「チョーキング」。バルコニーには地震で入ったのか「かなり大きめのヒビ」。角という角に「カビ、カビ、カビ」。陽当たりの悪い所は「コケ」だか「カビ」だか…。極めつけは雨漏り回避の為の外壁材の接合部のシーリングが「ほぼ無い」…。

内側に防水シートはあるんだろうけど、中の木材やられたらアウトだし、さすがに限界。こうして塗装を決断!

TIPTOPに決めた!

塗装にあたり我が家の優先順位はこんな感じ。

1. 傷みの補修(必須)
2. 外壁のイメージの改善
3. 予算内

上記3つの条件を満たしてくれそうな会社にお任せ。ただ「塗りました!」みたいなのは避けたい。シンプルだけど意外とわがまま(汗)?



そんなわがままを最終的に具現化するのが職人さんの「心と腕次第」と、自社の職人さんについて熱く語る社長さん。確かに職人さんの腕で具現化、補えるものって多い。

過去の仕事も見学させていただき、きめ細かい丁寧な仕事を再確認。さらに職人さん各々の資格やカラーコーディネーターの方の存在。塗料に関してもほぼ「マニア」のTIPTOPさんと塗料メーカーとで交わした相互保証。それら一つひとつが背中を押してくれた大切な要素です。

STEP 2

STEP 3

打ち合わせ

補修方法
は事前に
状況確認
を行って、ベス
トな提案をいただき合意。

次にイメージ。

帰宅時にハッピーに感じる色とそれなりに落ち着いた色の2色（クリーム系と緑系）と方向性はある程度決めてからの訪店。しかし実際のサイズ感での印象とサンプルの印象の違いを知り、また質感まで考えるとだんだん迷いが生まれました。

が、カラーコーディネータの方がこちらの好みをベースに知見・経験からいくつかご提案があり、実際の物件を見学、さらにサンプルと比べながら徐々にイメージを固めていきました。親身に相談に乗っていただき、しっかり最終イメージを思い描いたうえで決断することができました。



STEP 5

まずは足場組立

施工開始！
まずは足場の組立。

シンプルな家のつくりのせい？
テンポよくパーツ(?)が積み上げられ、あっという間に足場が完成！

それにしても結構な高さ、怖くないのか？

組立後「足場つかって誰かに侵入されそう」とか内心ちょっと心配にもなったけど、防犯カメラもつけてもらってセキュリティ面も盤石。



STEP 4

ごあいさつ

着工前の近
隣へのご挨拶。
本来自身でのご
挨拶を考えてましたが、はるかに人当たりの良さそうな担当の方に完全に甘えることに。

施主側の普段の仕事のタイミングやご挨拶先での近隣の方々の心配事などの質問に即答できることを思うと、一緒に行くのがベストで、次にご対応をお願いするがいいのかなと感じます。



ごあいさつ



STEP 6

高圧洗浄

汚れが上から下に流れるように屋根から洗浄。さらに外に飛ばないように可能な限り内側に向けて洗浄していくらしい。

陽当たりの悪い家の裏側のコケもカビ、積年の汚れも一網打尽。家の周りも、駐車場もピカピカ。

最後は側溝に溜まった汚れも丁寧に取り除いてくれました。そこまでやるんだって、ちょっと感動。



STEP 7

シーリング撤去

陽が当たらない面のシーリングは残っているので纏まった状態で綺麗に気持ちよく剥がれます。

一方で陽当たりのよい面のシーリングはほぼ残骸(カス)。ひとつひとつ確認し取除く細かな作業。

上から貼替えちゃえば分からないだろうと思うけど、結果この作業が後々のシーリングの耐久度にも関わるようで時間かけて丁寧に作業していただきました。



陽が当たらない面のシーリングは多少残っていてそれらは綺麗に剥がして、残りを除去。

STEP 9

マスキング

玄関周り・窓枠と次々と養生・マスキング。
施主の日常生活を考えた上で対応は現場で毎回違うだろうし、さっと想像以上に経験が必要なことなんだろうな。

マスキングテープを短めに所々切って折りたたむ。
これは一時的に剥がす際の影響箇所を最小限におさえるためかもしれない。いろいろ理由がありそう。

狭く細かい箇所もサイディングの凹凸に合わせ、一段一段丁寧にマスキング。



狭いところもサイディングの凹凸に合わせ、一段一段丁寧に下地処理。

STEP 8

下地づくり

何やらサンドペーパーで経年の汚れやサビで凹凸を均して、サイディング下の見えないところも細かくペーパー掛け。



この作業をしっかりとしないと塗装の仕上がりに影響がでるらしい。

ツルツルにするのかなと思いきや、「ツルツルにしすぎても塗料が流れてしまうので、多少のザラつきが必要なんです」と職人さん。
どのくらいのザラつきかは感覚なんだろうね。きっと。

下地作りが塗装の見た目以上に気の抜けない作業なんですね。

STEP 10

シーリング打ち替え

マスキングも終わり、たっぷりのシーリングを注入。押し込んで平らにして余分な物は取り除く。

簡単そうに見えるけど、動きながら同じ力を掛け続けるのはかなり難しそう。

長年の心配の種、雨漏り起因の建物内部の腐食の恐怖からようやく解放！



簡単そうに見えるけど、動きながら同じ力を掛け続けるのはかなり難しそう。

STEP 11

屋根塗装

普段見ることはできない屋根。ここも他同様、傷み・剥がれ・留具が外れての浮き等など想像以上に劣化、劣化、劣化。

これらを前もって補修いただいて、その後下塗り。下塗りは「遮熱性」と、塗料の付着？を強化する目的があるらしい。中塗りで仕上がりの全体の雰囲気が見えてきて、上塗りで屋根完成！

それにしても天気にも恵まれ屋根の上は気持ちよさそうでした。



色褪せ

欠け

STEP 13

外壁塗装

緑の部分と同じように下塗り・中塗り後、より立体的に見えるように特殊なテクスチャ塗装。

家のサイディングがフラットなので、最初から石模様のサイディングに比べかなり職人さんの塗装技術と感性が必要な作業。しかも広い範囲を均等に塗装するとすると…確認するだけでも難しいはず。

テンポよく、無理な体勢で塗装を行うこともなく身体の位置を変え、均一に塗られていく。なんとも所作がね。 ホント美しい。二度目のテクスチャ塗装で濃淡がより強調されれば完成。更にこの上にコーティング塗っていただいて塗装完了。 完璧！



上塗り

STEP 12

外壁塗装

外壁の緑部分。色褪せた壁があっという間にマットな優しい白の下地で覆われる。

これはこれであり！

「補修・養生・マスキング・ペーパー掛けなど、下地処理をきちんとやっておくと塗るのは意外と早いんですよ！」と職人さんがおっしゃっていました。もちろん全て完璧ではないので後々の調整は必要とも。

言われてみれば日々の食事ひとつとっても「準備」が一番大事な作業だっと思いますよね。元の「傷んだ白」から「マットな白」の下地へ、中塗りの「深緑」から上塗りで「優しい深緑」へ。工程を徐々に楽しむ間もなく、ホントあっという間でした。



中塗り

下塗り

STEP 14

バルコニー防水塗装

遮るものもなく日当たりが良すぎるムダに広いバルコニー。つまり日焼けや埃でここも劣化が相当進んでいる…。

雨の日はチャンスとばかりのデッキブラシを持ってゴシゴシ磨いてたがホントのところ、どうなんだろう？これも塗膜を剥がし、劣化の要因になるのかもしれない。聞いておけばよかった。

ここも下地処理後に下塗り、隅々まで丁寧な中塗りでごびりついた「シミ？」も消され、上塗りでまさに新品同様。



中塗り

STEP 15

その他塗装

メインの作業以外にもガスメーターだったり、ドア付近のライトだったり、給湯器周り等々の細かい塗装もある。

ベランダにある小さい四角い窓の中までしっかりテクスチャ塗装されていて、本当に丁寧。

痒いところに手が届くというか、細かいところまで手を抜かない。



下地処理

STEP 16

補修作業

最後に細かく点検して補修作業。もういいんじゃないかな？ってこちらが思うくらい仕上がりにこだわってくれます。

感謝。

職人さんはどちらかというと強面で話しくいってどこかで思っていました、ホントただの偏見ですね。作業の説明も何気ない会話も含め楽しい時間を過ごせました。



塗装補修

STEP 17

完成!!

「新築みたいになりますよ!」は塗装前の社長の言葉。

こうやって家を眺めるのはいつぶりだろう？
帰宅時、玄関の雰囲気がちょっと優しく良いんですね。

なるほど、「塗装で人を幸せに」でしたね。



大切なのは「どこまでこだわられるか」。
職人のちょっとしたこだわりを感じてもらえたら嬉しいです。
1.5.10年後の無料点検で、またお会いしましょう♪

バイバイ